

党大会成功へ 大平議員・垣内比例候補 年頭からダッシュ

# 比例選挙 大平議員の議席を絶対確保し、さらに二議席へ



新年おめでとうございます。

2017年の年頭、大平喜信衆議院議員と垣内京美比例2次予定候補は、議員・支部と一緒に街頭から訴えています。(写真上広島で訴える大平議員、岡山で訴える垣内氏)

この新年最初のブロックニュースでは、大平議員と垣内候補の「新春対談」を紹介します。  
.....

**【垣内】【大平】**明けましておめでとうございます。

**【大平】**先ほど、党旗開きでの志位委員長の話の聞きましたが、昨年来の情勢と闘いの変化に大きな確信が持てましたね。

**【垣内】**そうですね。総選挙の勝利へ、大平議員の議席を絶対に確保し、さらに2議席へ向けて頑張らねばと決意を新たにしました。

**【大平】**私も議席増の先頭に立とうと決意しました。ところで、昨年末、比例候補になってからさっそく中国ブロックを一巡されてましたね。

**【垣内】**昨年末、出身の岡山以外の4県を回って、ご挨拶をさせていただきました。どこでも支部のみなさんや県・地区委員会のみなさんが温かく迎えていただいて、大変うれしく思っております。どこにいても共産党ここにありという感じでした。

12月22日の初参加の防衛局交渉でも感じたことですが、この中国ブロックが極東最大規模の岩国基地を抱えるブロックであるということで、住民の「生命と暮らし」が危険と隣り合わせにあるような状況に直面している。こんな中で共産党の国政候補者や地方議員の活動が本当に凄いなと感じました。地域住民と結びつき、オスプレイの墜落や低空飛行問題で直ちに運動を起こしている、ここが依拠すべきところだと思っています。この力で総選挙では、大平さんを再び国会に送り出し、この力をもっと大きくしなければならぬということを実感させられました。



(写真上は防衛局交渉昨年12月22日)

**【大平】**ご一緒した防衛局交渉は、ひじょうにタイムリーで共産党ここにありを示したと思



います。何でこんなに事故が相次ぐのかと防衛省に問えば、ホーネットは墜落事故続きで、アメリカ本土を含めてこの半年で 8 件の重大事故（クラス A）が起きており、毎月 1 件以上の事故が起きていることとなります。本当に欠陥機ですね、こんなのが中国地方の上空を飛び回っている。こんな危険なことはありません。今日の交渉でも中国・北朝鮮の脅威に対抗し、南西諸島に近い中国地方での防衛の大切さを強調していましたが、なによりも脅威はこうした欠陥機が毎日のように中国地方の上を飛行していることではないかと思

います。耐え難いことです。（写真上は、広島県海田町で訴える大平議員ら）

いよいよ来年は彼らのスケジュールで言っても大決戦の年になります。本当に正面对決で住民の皆さんと力をあわせていく 2017 年になると思います。

**【垣内】** 私は、高校生と中学生の子どもがおります。高校生は、今受験生で来月 14 日 15 日と大学センター試験なんです。お母さんは党大会でいないし、お父さんは倉敷の市議員選挙でいなのでちゃんと自分でやりなさいという風になっています。ちゃんと進路は決めて中国ブロック外に出ていくことが決まっています。とにかくびっくりしたのは、学費の高さです。これで大平さんと一緒に頑張らないといけないと一層強く思いました。我が家の家計にとっては、0 の数が多すぎます。初年度は入学金などがあって一層負担が多くて大変です。夫婦 2 人が共産党の専従として働いていますが、これでも年収の点で奨学金を借りることができません。借りるなら有利子の奨学金しかありません。

これから大学で学んで、そしてそれを活かして社会に貢献できる学生を応援できるようにすることこそ政治の役割だと思えます。ですから高い学費を引き下げることと奨学金制度の充実が若い世代、学生のみなさんやその親御さんたちと共に声をあげていくことが大切だと思えます。その点で、大平議員の国会論戦には大きく励まされています。

**【大平】** ありがとうございます。昨年 1 月の段階では、奨学金なんて全く想定できないと麻生財務大臣が言っていたところから、来年度実現するということまで大きく押し上げたのは国民の戦いだと思えます。しかし、「やりましたでも中身は不十分」、彼らにとってはあまり痛くもない教育予算でのやりくりというところに留まっているものですから、これではあまり意味がない。我々でいえば防衛費を削ってあるいは政党助成金を廃止してそれに充てるということを大きく訴えていくようにしたいと思えます。

**【垣内】** 国民の運動と参院選での野党共闘、さらに躍進した日本共産党の奮闘・・・安倍内閣の暴走もひどいですが、一方で、安倍内閣を追い詰め、政治を動かした国会でもあったわけですね。

**【大平】** そうです。TPP や年金カット・カジノ法案など国のあり方や国民生活に重大な影響を与えるような法案をまともな審議もなく押し通した罪は本当に重いですよ。しかし、それは彼らが追い詰められている焦りの表れでもあるんですね。議論したら国民の批判が広がるので議論しないで強行する・・・「ポスト真実」＝嘘と偽りの政治ですね。

**【垣内】** なるほど。来るべき総選挙では、さらに追い詰めて、安倍内閣を打倒し、野党連合政権をつくらねばなりませんね。私が 2 次候補を引き受けたのは、11 年ぶりに獲得した大平議員の議席を必ず確保し、さらに議席増をめざす先頭に立ちたいという思いからです。

**【大平】** そうですね。国会で論戦すればするほど、中国地方の課題をもっともっと取り上げたいと思えます。2 議席で駆け回れば、期待に応えることができるし、何よりも安倍政治を転換する大きな力になると思えます。私も、中国地方での 2 議席確保へ全力を挙げます。一緒にがんばりましょう。



以上